



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所)



復興支援ニュース Vol.28

平成25年11月

地域包括ケアの推進組織が発足

10月25日、石巻市役所において、「第1回石巻市地域包括ケア推進協議会」が開催されました。本協議会は、行政、医療・保健福祉分野や自治会など12団体が参画しています。第1回目の会議では、今年度中に、地域包括ケアシステム推進事業計画を策定することなどを決めました。復興まちづくりを進めるなかで、医療・看護・介護等の多職種の連携及び自治体等との協働により、24時間の医療・介護体制の構築など、住民が安心して生活できる石巻独自の生活支援体制の整備を進めていくこと



【協議会の様子】

になります。

復興住宅と福祉のまちづくり研修会を開催しました

10月8日、石巻市ささえあい総括センターにおいて行政や社会福祉協議会、社会福祉法人の職員を対象にした研修会を開催しました。



【佐藤寿一氏の講義風景】

「コミュニティづくりにおける行政の役割と協働」をテーマに、兵庫県宝塚市社会福祉協議会事務局長 佐藤寿一氏、全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏を講師にお迎えして、復興住宅入居後の新たな地域のコミュニティづくりにむけて、行政や社協の取組、NPOや住民の主体的な取組などの実践例をお話いただきました。

復興公営住宅入居後も切れ目のない支援体制をつくる重要性とともに、地域住民の視点での住みやすい地域づくりについて改めて考える機会となりました。

かき剥きの時期になりました

10月15日、県内のかき処理場で、かき剥き作業が一斉に始まりました。

石巻市渡波の宮城県漁協ではかきのせりが行われ、入札で10キロ当たり平均2万3764円の値を付けました。

東日本大震災後、3回目のシーズンとなり、来年3月までの生産量の見通しは約1,500トンと震災前と比べて3分の1までに回復し、着実に増加しています。当所では、かき処理場等の施設の監視指導や生かきの食品検査を実施し、安全なかきが出荷されるよう取り組んでいます。



【東松島市東名かき処理場のかき剥き職人さん達】

「適正飲酒」「お塩のエコ」に努めましょう

東部保健福祉事務所では、第2次みやぎ21健康プランをお知らせするために、石巻市食育フォーラム10月13日、女川町健康まつり10月14日に参加しました。

石巻市食育フォーラムでは、適正飲酒をテーマに、お酒に含まれるアルコール量等の紹介や、「アルコールパッチテスト」などを実施しました。

女川町健康まつりでは、塩エコをテーマに加工食品や調味料に含まれる塩分の紹介、香辛料の活用や簡単なだしの取り方など「塩エコ」の具体的な取り組み事例についてお知らせしました。

毎年11月はみやぎ食育推進月間です。生涯にわたり心身ともに健康で豊かな生活を送るため、日ごろの食生活を見直したり家族そろって楽しく食卓を囲んでみませんか？



【アルコールパッチテスト風景】

仮設住宅へ訪問支援活動をしています（石巻市・河北エリア、北上エリア）

石巻地域でも復旧・復興が進み、災害公営住宅の建設が各地で進められていますが、震災から2年半以上が過ぎながら、多くの被災者の方々は依然として仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。その被災者の方々にとって心強い存在が石巻市社会福祉協議会の訪問支援員の皆さんです。今回は石巻市河北地区と北上地区で入居者への巡回や訪問を通じ、生活相談等の支援活動を行っている訪問支援員の方々にお話を伺ってきました。

【河北エリア】

9団地に約1,800人が暮らす河北エリアでは14人の訪問支援員が一班2～3人の5班体制で、平日毎日巡回訪問を行っています。平成23年9月から始めた活動当初は心を開いてくれなかった入居者も、雨の日も風の日も訪ねてくれる支援員に、感謝とねぎらいの言葉をかけてくれるようになったそうです。

支援員の皆さんは一日の最後に日々の活動を報告し合い、そこで情報が共有され、課題解決のヒントが見つかるとのこと。活動を統括するエリア主任の玉木恵子さんにとっても支援員の言葉や情報が貴重なものとなっていて、「支援員さんが私の宝です」と玉木さん。河北エリアの活動目標は「傾聴のつながり、相談のつながり、見守りのつながり」。「これからも住民の方に寄り添いながら、つながりをさらに深めていきたい」と話されました。



【河北エリアの訪問支援員の方々】
【前列左から2番目が玉木さん】



【北上エリアの訪問支援員の方々】
【前列右側が武山さん】

【北上エリア】

3つの団地に234世帯が暮らす北上エリアは、その多くの入居者は旧北上町の方々と、約半数が高齢者。しかし、若い人たちの負担になってはいけないと普段からシルバーカーで団地内を散歩するなどして健康に気を配っているとのこと。また、団地内にあるベンチでのおしゃべりは、支援員との交流の場にもなっていて日常の様子をうかがうことができるようです。

「今後、高台に集団移転した場合、プライベートが守られるような住環境になり、団地が点在することなどから、人に会う機会が減って、新しい環境で急にさびしさを感じてしまわないか心配」と語るエリア主任の武山慶子さん。新しい環境へ行っても孤立することなく、生きがいを持って生活してもらいたいとエリアで話し合い、活動目標を「生きがい作りと健康作り」に設定。「入居者の方々に寄り添いながら、ともに歩いていきたい」と、思いを語っていただきました。

生活してもらいたいとエリアで話し合い、活動目標を「生きがい作りと健康作り」に設定。「入居者の方々に寄り添いながら、ともに歩いていきたい」と、思いを語っていただきました。

リフレッシュママクラスのお知らせ

ママの元気は子どもの元気！こころのリフレッシュを一緒に！「リフレッシュママクラス」は、子育て真っ最中のママに、心のエクササイズを体験しながら「生きる力」「育てる力」を取り戻してもらうために開催する講座です。今回は河北、雄勝、北上、桃生地区にお住まいの方を対象として講座を開催します。託児付きですので安心して参加ください。

日時：①11月14日(木)9:20～12:00

②11月19日(火)9:30～12:00

場所：石巻市河北総合センター(ビッグバン)

講師：自治医科大学地域医療学センター

公衆衛生学部門名誉教授 高村寿子氏

定員：30名(河北、雄勝、北上、桃生地区にお住まいの方)

参加費：無料 申込み期限：11月11日(月)

申込み方法 電話、電子メール

申込み・問い合わせ：ベビースマイル石巻 荒木

電話 0225-24-8304

e-mail ishinomaki@forbabysmile.com

「まちの保健室」が開設しました



宮城県看護協会が実施する「まちの保健室」がイオンスーパーセンター石巻東店に開設されました。イオンモール石巻に続き2か所目の開設となります。

まちの保健室では、普段の生活の中で健康づくりに取り組めるよう、血管年齢測定器や血圧計を使った健康チェックや健康相談を行っており、石巻東店の第1回目となる10月15日は約35人が利用しました。血圧が高い方や体調が気になる方が看護師や保健師に相談していました。

今後、住民が気軽に健康を考えられる場として定着することを目指して、毎月開設される予定です。

この記事に関するお問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所(宮城県石巻保健所)
復興支援情報発信チーム

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

Tel: 0225-95-1411(内線322)

Fax: 0225-94-8982